

◇◇ ちょっと見てんまい！ ◇◇

◆ユビキタスで実現する保守作業改革 ～ I C タグ・音声・映像を融合～
『Interstage Realtime Communicator』

保守の現場では、保守機器の多種多様化や小口化が進み、修理マニュアル数の増大や熟練技術者の減少などから、作業ノウハウの電子化による確実でスピーディな保守作業が求められています。また、保守マニュアル・お客様情報の紛失など、セキュリティを確保することも重要です。

そこで、富士通研究所では、ユビキタス機器を利用した業務システムのための基盤ソフトウェアを開発し、それを利用して保守作業を効率化するシステムを開発しました。

本ソフトウェアの利用により、点検作業者は現場に書類マニュアルが不要で、PDA(携帯情報端末)などの端末のみを持参し、点検対象機器に付けられたRFID、二次元バーコードなどを端末で読むことにより、その機器に関する基本的な情報や修理手順がWebや音声を利用して点検作業者に通知されます。修理完了後はその場で報告書を自動作成して管理本部に無線で送信し、本部では作業の進捗状況がリアルタイムで常時確認できます。

《 特徴 》

- ・ キーボードやマウスを使った端末操作が困難な現場でも、音声で対話することによってシステムを操作することが可能
- ・ 作業手順をWeb画面に表示したり、音声での操作指示ができるため、作業ミスを防ぎ安全性・確実性を確保
- ・ 音声サーバと連携し、一つの業務アプリケーションで音声とWeb、さらには二次元バーコードやRFIDタグなどを連携したシステムを容易に構築可能

★ ご興味のある方は、『JUST YOU 通信』にご返信ください。★